

令和6年度事業報告

(概況)

令和6年度東根市シルバー人材センターの運営については、基本方針・事業計画に基づき組織の基盤である会員の増強と健全財政の確立に努め、第五次中期基本計画に基づき会員総意のもとに積極的に事業の推進を図ってまいりました。

事業実績については、物価の高騰や配分金の値上げ、イベント等の再開により、市の公共事業、企業、個人・家庭ともに増加し、多くの降雪も後押ししました。請負・委任の契約金額については、約1億5,000万円と前年比約12%増となり、派遣については、昨年度後期からの新規受注の継続などから、約2,710万円と前年比約10%増となりました。その結果、請負・委任、派遣事業全体では、前年度比約12%増となりましたが、会員数については相談対応の結果もありましたが、体の不調や亡くなる会員が多く1人減り360人と約0.3%減となりました。

今後の指標となる第五次中期基本計画を策定し、会員のDX対策として昨年に引き続きスマホの講座を行うなどの事業を行い、令和5年10月から導入されたインボイス制度については、山形県シルバー人材センター連合会と連携を図り対応を図ってまいりました。また、令和6年11月に施行されたフリーランス新法に伴ない会員に対し就業条件の明示をできる体制を整えたこと、国から契約方法の見直しに係る基本方針が示されたため、包括的契約について関連ある事業者などにも丁寧な説明を行い理解が得られるように努めました。今後も引き続き対策が必要と思われまます。

これからも、会員の就業努力をはじめ市民の皆様、行政当局、関係機関各位のご理解とご支援をいただきながら、公益社団法人として、ますます進行する超高齢化社会への対応と地域社会のニーズに的確に応え、当センターの責務を果たす事業運営に努めてまいります。

具体的な事業実施状況

1. 事業運営に係る組織体制の充実について

会員の自主的な運営のもと、それぞれの組織活動の機能が充分発揮されるよう、組織活動の一層の適正化と活性化に努めた。

- ① 審議機関としての理事会を8回開催し、組織運営の適正化に努めた。
- ② 課題究明のための専門委員会を必要に応じ開催し、課題処理に努めた。
- ③ 会員相互の連携調整を図る地域班長会を定例的に開催し、組織の活性化と効果的な運営に努めた。
- ④ 女性部活動の充実と機能強化を図り、組織目的の達成に努めた。
 - ・ 自主事業の実績増に努めた。
 - ・ 女性部の定例事業活動としての「のぞみ会」は、コロナ禍を期に活動が難しくなったため、今後のあり方、新たな活動について検討を行った。
- ⑤ 財政基盤の確立と適正就業の推進に努めた。
- ⑥ 会員の資質向上を図る各種研修会の開催に努めた。
- ⑦ 地域班の交流、育成、推進に努めた。
- ⑧ 住民ニーズに的確に応える円滑な就業と安全就業を図る各職能班の調整会議を必要に応じて開催し、機能充実に努めた。
- ⑨ 仕事開拓・会員入会促進委員会の主導で、プラス&プラス運動を推し進め、就業機会の確保と会員拡大に努めた。
- ⑩ センターの新たな指標となる第五次中期基本計画を策定した。

2. 会員拡大と就業機会の確保について

- ① 仕事開拓・会員入会促進運動（プラス&プラス運動）を推進した。
- ② 会員拡大策については、定例化された入会説明会を毎月21日（土、日、祝祭日の場合は次の営業日）に開催し、健康で働く意欲の高い高齢者の入会促進に努めた。
- ③ 会員の口コミ等、自主的な活動による入会促進と積極的な就業活動での発注者増に努めた。
- ④ 「シルバー東根」、「市報ひがしね」等各広報紙の活用によつての入会促進と就業開拓に努めた。
- ⑤ 役職員による事業所、官公庁の訪問を実施し、就業機会の開拓に努めた。
- ⑥ ヘルプアップ住ま居る事業を推進し、就業機会の確保に努めた。
- ⑦ ハローワーク村山でシルバー人材センターの説明会を実施し、受講者の募集と入会促進に努めた。
- ⑧ ハローワーク村山、山形労働局主催の「オール北村山就職面談会2024」、ハローワーク村山、東根市雇用対策協議会、山形労働局主催の「令和6年度東根市就職面談会」の相談コーナーを設けた。
- ⑨ 会員の適正就業を推進し、積極的に就業機会の確保に努めた。
- ⑩ 労働者派遣事業での就業の場の確保に努めた。
- ⑪ 東根市福祉課、健康推進課の協力を得て地域会議を市内4会場で健康講座を開催し、一般高齢者も対象として参加を募り、新規会員の入会促進に努めた。
- ⑫ 市内公共施設等に門松を設置し、就業機会の拡大と普及啓発に努めた。
- ⑬ 連合会事業の高齢者活躍人材確保育成事業を3件活用し、新規発注者の開拓と会員の就業の確保に努めた。
- ⑭ フリーランス新法に伴う包括的契約について関連ある事業者の説明を行った。

受託件数、就業延べ人数、就業率の推移表

令和6年度請負・委任事業実績

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
会員数(人)	365	369	358	361	360
年間受注件数(件)	1,931	1,869	1,890	1,729	1,750
就業延べ人数(人日)	32,427	32,645	31,416	26,784	29,833
就業率(%)	86.6	85.9	88.8	85.3	87.5
契約金額(千円)	135,744	135,967	142,348	133,364	149,597

※ 就業率とは、就業会員数(請負・委任)/全会員数で派遣就業のみの会員は含まれていません。

令和6年度派遣事業実績

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
年間受注件数(件)	17	17	19	18	17
就業延べ人数(人日)	4,451	4,213	4,629	5,679	5,885
契約金額(千円)	18,243	17,883	19,296	24,800	27,158

令和6年度請負・委任、派遣契約金額実績比較

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
請負・委任(千円)	135,744	135,967	142,348	133,364	149,597
派遣(千円)	18,243	17,883	19,296	24,800	27,158
合計(千円)	153,987	153,850	161,644	158,164	176,755
前年比(%)	101.32%	99.91%	105.07%	97.85%	111.75%

※ 令和6年度請負・委任、派遣事業合わせての就業率は336/360で93.3%です。

3. 事業普及と啓発活動の推進

センターの組織や各種事業を広報紙の活用や実行動を通じて、広く市内全域へ周知しシルバー事業の普及啓発に努めた。

- ① センター組織と事業を広く市民、関係機関、企業に周知するための広報誌「シルバー東根」を発行し、普及啓発活動に努めた。
- ② 行政広報紙である「市報ひがしね」、各地域公民館だより等の活用により事業の普及啓発に努めた。
- ③ 会員会報「ふれあい通信」を発行し、情報提供と会員の意識高揚、普及啓発に努めた。
- ④ 普及啓発用ポスターの掲示とパンフレット等の頒布を行い啓発に努めた。
- ⑤ シルバーの日（10月第3土曜日）を中心にセンター事務所前にモニターを設置し、活動状況を紹介する連合会作成DVDの放映と、のぼり旗を掲げるなどして市民に対するPRを行った。
- ⑥ 報道機関への情報提供による普及啓発に努めた。
- ⑦ 会員の「ロコミ活動」による啓発に努めた。
- ⑧ 会員作品展会場でチラシを配布するなど、仕事開拓・会員入会促進（プラス&プラス）運動により事業の普及に努めた。
- ⑨ センター受付カウンターにモニターを設置。パソコンでも就業情報を閲覧できるようにし、ペーパー、画像両方での情報提供を行った。
- ⑩ ホームページの充実を図り、情報提供と啓発に努めた。
- ⑪ ハローワーク村山でシルバー人材センター事業の説明会を行った。
- ⑫ ハローワーク村山、山形労働局主催の「オール北村山就職面談会 2024」、ハローワーク村山、東根市雇用対策協議会、山形労働局主催の「令和6年度東根市就職面談会」の相談コーナーを設けた。

4. 各種技能講習会の開催と雇用の促進について

就業に必要な各種技能講習会を開催し、会員と一般高齢者の能力の向上と雇用の促進に努めた。

(1) センター独自の講習会

デジタル推進関連（フリーランス関連）

① スマホ講座

期 間 令和6年7月30日～令和7年3月19日
回 数 初級3回 基礎18回 基礎25回 合計16回
講 師 ソフトバンク
受講者 延べ102名

② 会員の接遇マナー研修

期 間 令和7年2月4日、7日
回 数 2回
講 師 山形県男女共同参画センター 元センター長 金澤和子氏
受講者 延べ40名

(2) 連合会事業

高齢者活躍人材確保育成事業

緑地管理

期 間 令和6年7月12日
講 師 林業・木材製造労働災害防止協会 山形県支部
受講者 1名

庭木の手入れ講習

期 間 令和6年9月24日～26日
講 師 株式会社 養樹園
受講者 9名(うち市外2名)

パソコン講習 初級編

期 間 令和6年10月8日～11日
講 師 職業訓練法人 東根職業訓練協会
受講者 13名(うち市外1名)

女性いきいきライフセミナー

期 間 令和6年10月21日
場 所 村山市 Link 村山
講 師 Pizza nu-ma ウェルベース村山 NailSalon OCEAN
受講者 13名

(3) 派遣教育訓練(連合会開催含む)

期 間 令和6年11月18日～令和7年2月7日
回 数 4回
講 師 一般社団法人 中高年齢者雇用福祉協会他
受講者 延べ 27名

5. 安全就業について

組織活動の最重要課題として、会員一人ひとりが安全意識を再確認し、事故ゼロを目標に努めたが、保険対象の傷害事故7件(うち骨折2件)、物損事故7件と合計14件の事故が発生した。

- ① 安全・適正就業委員会を年2回開催し、課題審議による安全・適正就業対策の徹底に努めた。
- ② 安全・適正就業委員会による就業現場のパトロールを2回実施し、安全就業の徹底に努めた。
- ③ 常時、職員による就業現場の確認と、安全対策指導の実施に努めた。
- ④ 会員会報「ふれあい通信」に記事を記載し、安全意識の向上に努めた。
- ⑤ 安全就業に係る器具、機材の整備充実に努めた。
- ⑥ 会員、職員による「安全声かけ」を日常行動として励行し、事故防止に努めた。
- ⑦ シルバードライバードックを実施し、会員16名、賛助会員1名、一般高齢者4名、合計21名が受講した。
- ⑧ 安全標語を募集し、安全意識の向上に努めた。
- ⑨ 県連合会育成事業の刈払機操作講習に会員1名が受講した。
- ⑩ 県連合会主催の安全就業推進大会に役職員・会員12名が参加し、当センター会員が安全標語佳作を受賞した。
- ⑪ 「感染予防」・「熱中症予防」のチラシを配付し予防に努めた。

6. 福祉・家事援助サービス事業の推進について

地域福祉向上の一端として、就業を通じ地域住民が一層快適な生活を営めるよう福祉、家事援助サービス事業を推進した。特に市の委託事業であるヘルプアップ住ま居る事業と高齢者活用生活援助サービス事業についてはコーディネーターと高齢者生活援助推進員(シルバー推進員)が中心となり、民生委員や市内施設の協力を得て、積極的な取り組みを行い生活支援と就業拡大に努めた。

また、就業予定会員の説明会を開催し、安心して生活できるよう高齢者への支援や地域づくりについて啓発に努めた。

7. 福利厚生事業の推進について

会員相互の心身の健全化と、就業活動が一層推進されるよう各種福利厚生事業の推進に努めた。

8. 各種会議、研修会への参加について

自主研修をはじめ関係機関団体等が行う各種会議、研修会への積極的な参加を通し研鑽に努めた。

9. ボランティア活動の実施について

会員同士が密にならないよう感染予防に努めながら、会員が一堂に会して実施している恒例の市役所周辺の清掃奉仕活動に大森工業団地にある企業からと高校生を含む一般の参加も加え実施することができた。

会員それぞれが、自発的な奉仕精神のもとボランティア活動を実践するとともに、シルバー親和会と連携を図りながら、社会貢献活動に対する機運の醸成に努めた。

- ① 市役所周辺の清掃奉仕活動を実施し、会員 85 名、山形サンケン 8 名、一般 5 名(高校生含む) 職員 2 名が参加した。
- ② 山形空港で「ふるさとの四季」写真展の開催や市内施設等で写真を展示した。
- ③ シルバードライバードックや市内 4 会場で実施した地域会議「元気になる食事と運動」など、会員以外の一般高齢者も参加できる事業等を積極的に開催した。
- ④ シルバー人材センターの活動広報のため、門松を作製して市役所や病院などの公共施設へ設置した。
- ⑤ 会員作品展でのバザー売り上げの一部を東根市社会福祉協議会に寄付した。